

8/22(木)

①10:30~ ②14:00~ ③18:00~ [2作品・93分]
鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、平成生まれの方は無料

ピカドン

1978(昭和53)年 スタジオロータス 10分 カラー

演出/木下蓮三

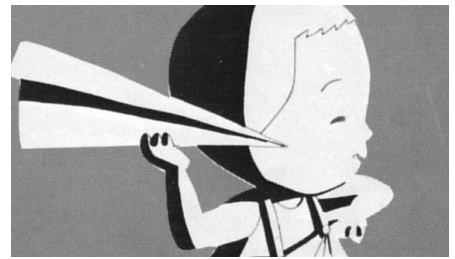
原爆の悲惨さをアニメーションならではの表現で描き、平和への祈りを短編に凝縮した作品。

はだしのゲン

1983(昭和58)年 ゲンプロダクション 83分 カラー

監督/真崎守 声の出演/宮崎一成、井上孝雄、島村佳江、甲田将樹

原爆の惨禍と戦中戦後をたくましく生きる少年ゲンの姿を描いた、中沢啓治の漫画『はだしのゲン』をアニメーションにした作品。ゲンは原爆で父や姉を失うが、母はその直後、女の子を産む。ゲンは妹のミルクのために懸命に働くが…。



ピカドン

©スタジオロータス



はだしのゲン

8/23(金)

①10:30~ ②14:00~ ③18:00~ [2作品・118分]
鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、平成生まれの方は無料

ヒロシマに一番電車が走った

1993(平成5)年 NHK広島放送局 32分 カラー

監督/平田敏夫 声の出演/大定純子、吉村美紀、大原稔子、木村知恵美

戦時中の広島、学校に通いながら路面電車の車掌を務める少女たちがいた。その一人、春川弥生は、8月6日の原爆で母や仲間を失いながらも、被爆後はじめて走る一番電車に乗り込んだ…。

はだしのゲン2

1986(昭和61)年 ゲンプロダクション 86分 カラー

監督/平田敏夫 声の出演/宮崎一成、島村佳江、甲田将樹、青山貴美

アニメーション『はだしのゲン』の続編。原爆が投下されてから3年後の広島。ゲンは病弱な母を助けながら、仲間の子どもたちとたくましく生きる。ゲンと母との絆、ゲンと仲間たちとの友情に焦点を合わせて描く。



ヒロシマに一番電車が走った

©2005 NHK



はだしのゲン2

8/24(土)

①10:30~ ②14:00~ ③18:00~
[2作品・95分]

入場無料

アマイとサダコの祈り

2019(平成31)年 ANT-Hiroshima 8分 カラー

監督/ファウジア・ミナラ

被爆10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんのお話が、パキスタンのアーティスト、ファウジア・ミナラの手によって色鮮やかなアニメーションになった。(作品提供/ANT-Hiroshima)

かっ飛ばせ! ドリーマーズ -カープ誕生物語-

1994(平成6)年 広島映画センター 87分 カラー

監督/兼森義則 声の出演/甲田将樹、小山裕香、風見しんご、相原 勇

カープ誕生のエピソードを交えながら、原爆で家や家族を失った少年たちが草野球に打ち込んで、たくましく生きる姿を描く。



アマイとサダコの祈り



かっ飛ばせ! ドリーマーズ

8/25(日)

①10:30~ ②14:00~ [2作品・92分]
鑑賞料/大人380円、シニア(65歳以上)180円、平成生まれの方は無料

この男子、石化に悩んでいます。

2014(平成26)年 コミックス・ウェブ・フィルム 28分 カラー

監督/山本蒼美 声の出演/蒼井翔太、平川大輔

広島出身のアニメーション作家・山本蒼美による『この男。』シリーズの第4弾。ストレスを感じると体が石化する症状に悩む男子高校生・田万里歩は、自分のことを気にかけてくれる好きな地学教師・徳仁原に惹かれていく…。(作品提供/コミックス・ウェブ・フィルム)

ジュノー

2010(平成22)年 アニメ・ジュノー制作委員会 64分 カラー

監督/木村真一郎 声の出演/家中 宏、豊崎愛生、高垣彩陽、小川真司

被爆直後の広島に大量の医薬品を運び、被爆した人々の治療に当たったスイス人医師・マルセル・ジュノーの生涯を描いたアニメーション。(作品提供/アニメ・ジュノー制作委員会)

※当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。
※上映開始30分後からの入場はおことわりします。



この男子、石化に悩んでいます。

©Soubi Yamamoto / CoMix Wave Films



ジュノー

広島国際アニメーションフェスティバルの紹介

入場無料

受賞作品上映

■8/22(木)~8/25(日) 連日13:00~ 会場/1階試写試験室

パネル展(歴代ポスター等)

■8/1(木)~8/31(土) 会場/1階多目的研修室

「第18回広島国際アニメーションフェスティバル」は、
JMSアステールプラザで、2020年8月20日(木)~24日(月)に開催します。